

有志舎の新刊です。2015年4月下旬発売

明治維新史論へのアプローチ

—史学史・歴史理論の視点から—

佐々木寛司 著

A5判・ハードカバー・280ページ 本体価格 3,800円

明治維新を問い直すことは、「日本の近代」の内実を問い直すことである。
近代に理想的＝純粹培養的な社会など実在しないのだから。

(目次)

はじめに

第一編 本源的蓄積論

第一章 日本の原著の理論的諸前提

第二章 日本の原著の政策体系

結 日本の原著の歴史的特質

附論一 明治維新経済史研究の方法的基盤

第二編 明治維新史論

第三章 明治維新の時期区分

第四章 明治維新論争の今日的地平

附論二 日本資本主義と明治維新

附論三 地方史研究における理論と実証

第五章 最近の明治維新論議をめぐって

第六章 明治維新の歴史的位置

跋に代えて

<著者紹介>佐々木寛司(ささき ひろし): 1949年生まれ、茨城大学名誉教授(明治維新史・近代日本経済史専攻)

～版元から～

明治維新とは何だったのでしょうか? 戦後歴史学や国民国家論を通過した今だからこそはっきり見えるようになったのが、「近代という奈落」の出発点としての明治維新の姿です。本書は、明治維新の「近代性」を強調しますが、一方でその成果を賞賛するのではなく、むしろ維新後にも継続された伝統社会が資本主義的發展のなかに包摂されていく過程で変質し、資本主義と共存していく厳しい現実を「日本の近代」の姿として捉え直しています。そして、そういう「難儀な時代」の出発点である明治維新を、日本的近代と西歐的近代・伝統社会の三つ巴が織りなす過渡期社会と位置づけます。個別事例の実証的研究が著しい発展を遂げてきた今こそ、もう一度、明治維新を総体的に捉え直す時が来たのではないのでしょうか。ベテラン研究者だからこそ成し得た、明治維新の歴史理論書、決定版です!

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-10、宝栄ビル 403 (有)有志舎 電話:03-3511-6085

番線印	ご注文	発行:有志舎	分野
	冊	明治維新史論へのアプローチ —史学史・歴史理論の視点から— 佐々木寛司 著	日本史(近代)
	ご担当	A5判・ハードカバー、280ページ 本体価格 3,800円	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。
	様	新刊 ISBN978-4-903426-94-5 C3021	

ご注文は 有志舎 担当:永滝(ナガタキ)まで FAX:03-3511-8484

当社商品の取扱取次はトーハン・JRC・八木書店ですが、日販・大阪屋ほか、いずれの取次でも上記取次経由で送品します。なお、JRCからも同じ注文書が重複して送られた場合は、この弊社あての注文書だけをご返信ください。